



## ピカピカの教室で 勉強がんばりたい

P 2～5 落成 西会津小学校校舎

P 6～8 平成27年度 町政方針

P 9 ぼくたち わたしたち 新1年生  
住んでみたい、行ってみたい町へ

P 10～11 出し方が変わる「ごみ」

4月からの変更点を解説

P 12～13 3月町議会定例会報告

# 落成 西会津小校舎

2

安全・安心な学校 ● 小中連携教育を推進できる学校 ● 環境と調和した学校

5年前の平成22年5月、町の諮問機関「小学校適正配置審議会」は町に対し、「今後の児童数の見込みから教育効果を高めるため早期に5校を1校に統合することが望ましい。校舎は小中連携教育を推進するため中学校の隣接地が望ましい」と答申しました。

この答申を受けて町では、小学校統合の基本方針を定め、地区説明会や町小学校統合推進委員会での審議を経て、平成24年4月、旧野沢小学校に統合西会津小学校を開校しました。

その後同年6月、町では新校舎の敷地造成工事に着手し、平成25年9月から建築工事を進めてきた新しい校舎は本年1月30日に完成しました。校舎落成式は3月15日、西会津中学校多目的ホールで開かれ、関係者が待望の完成を祝いました。

いよいよ4月6日から新校舎での授業がスタートします。今月は、新校舎の概要、これまでの事業経過や整備費、2人のインタビューを掲載します。

新しい校舎は、「安全・安心」「小中連携教育の推進」「環境との調和」を基本方針に整備しました。

## 安全・安心

防火、防犯対策はもとより、エレベーター、多目的トイレを設置するなどバリアフリーや、さらに雪対策にも配慮し、加え

て災害時には緊急避難場所として使用できる施設として整備しました。

## 小中連携教育の推進

1、2階とも中学校と渡り廊下でつながり、児童生徒や教職員が互いに行き来でき、小学生が中学生の諸活動を見ることが可能な施設になっています。

床や壁を木材で仕上げ、木の香りとぬくもりに包まれた教室(南校舎2階)





**環境との調和**

校舎には14キロワットの太陽光発電設備や、燃料に木質チップを使用するバイオマスボイラーを設置し、再生可能エネルギー利用を図っています。内装には町民の皆さんから寄付で寄せられた地元産杉材をはじめ木材をふんだんに使っています。教室は、日当たりの良い2階南側に配置し、南北への風通しにも配慮しています。

このほか、廃校になった小学校の歴史を継承し展示するギャラリーや町民の皆さんと児童の交流ホールを中央昇降口の周辺に設けています。



▲ 足場を設置し工事が進められた新校舎。左奥が西会津中学校(昨年10月15日撮影)



右上=北校舎と南校舎の1、2階をそれぞれつなぐ渡り廊下の階段／右下=尾野本小講堂をモチーフにした多目的ホールの天井(北校舎1階)／左=約120m続く廊下。廊下右側に12の教室、左側には6つの学年ラウンジを配置(南校舎2階)



# 新校舎完成祝い式典

町では、西会津小学校新校舎落成式を3月15日、西会津中学校多目的ホールで挙行し、出席した関係者や来賓約150人が希望の学びやの誕生を祝いました。

式典では、西会津小学校6年生の皆さんが校歌を斉唱した後、写真、伊藤町長が「子どもたちが学力と人間性、社会性を身につけ、楽しく充実した学校生活を送られるよう小中連携教育の推進に努めていきます」と式辞を述べました。続いて小学校統合、新校舎完成に至るまでの経過をまとめたビデオを上映し、また来場者に事業経過などを報告しました。感謝状贈呈では、伊藤町長が用地提供者、校舎建築用杉材等寄贈者、学校備品等寄贈者、設計監理・工事施工者の皆さんに感謝状と記念品を贈りました。

午後からは町民の皆さんを対象に内覧会が行われ、約400人が完成したばかりの校舎を見て回りました。

平成24年5月の用地取得から2年10カ月の歳月を経て総事業費17億8千910万円で2階建ての南校舎および北校舎、グラウンドなどが完成しました。平成24年4月の開校後、旧野沢小学校の校舎を使って授業を行ってきた西会津小学校は、いよいよ4月から新校舎で授業をスタートします。

## 新校舎概要

- 構造／鉄筋コンクリート造 2階建て
- 規模／建築面積 2,751㎡
- 延床面積 4,720㎡(1階2,407㎡、2階2,313㎡)
- 内容／南校舎 1階 管理諸室(校長室、職員室、用度室、更衣室、保健室等)、特別教室(理科室、パソコン室、音楽室)、会議室など
- 2階 普通教室(12教室)、特別支援教室、学年ラウンジ、会議室など
- 北校舎 1階 多目的ホール1、木質バイオマスボイラー燃料格納庫・機械室
- 2階 多目的ホール2

## 暖房設備

- 構造／乾燥チップ焚き木質バイオマスボイラー 1基
- 規模／暖房能力300kW(258,000kcal/h)

## 太陽光発電設備・蓄電池

- 構造／屋根材一体型太陽光パネル13.8kW、蓄電池15kWh

## 屋外教育環境

- 規模／グラウンド全面芝張り3,983㎡、ピオトープ1,584㎡

## 整備費

(設計・工事監理費を含む、単位:万円)

整備施設	事業費	補助金	起債	一般財源
用地・補償・敷地造成費	1億4,264	0	1億3,240	1,024
校舎建築	14億1,759	5億9,299	7億6,040	6,420
木質バイオマスボイラー	5,810	2,905	2,900	5
太陽光発電設備	4,087	3,408	670	9
周辺環境整備	1億2,990	7,367	2,020	3,603
合計	17億8,910	7億2,979	9億4,870	1億1,061

- 2009【平成21年】10月●第1回小学校適正配置審議会
- 2010【平成22年】5月●第6回小学校適正配置審議会「統合について答申」
- 小学校統合に向けた基本方針策定
- 7月●地区説明会「5日間」
- 10月●第1回小学校統合推進委員会
- 2011【平成23年】2月●町立小学校及び中学校条例改正議決「校名を西会津小学校に改正」
- 4月●第4回小学校統合推進委員会「新校舎整備位置を決定」
- 7月●第1回統合小学校ワークショップ「9月に2回開催」
- 同委員会視察研修
- 2012【平成24年】4月●西会津小学校開校
- 6月●敷地造成工事着工「12月工事完了」
- 2013【平成25年】6月●杉材寄贈申込受付開始
- 9月●新校舎建築主体・機械設備・電気設備工事着工
- 2014【平成26年】7月●屋外教育環境整備・外構工事着工
- 2015【平成27年】1月●新校舎建築主体・機械設備・電気設備工事竣工
- 3月●落成式
- 屋外教育環境整備・外構工事竣工



**岩倉 剛士** さん [上野尻]

いわくら・たけし 平成22年10月から町小学校統合推進委員会委員を、平成26年4月からは同委員会副委員長を務め、小学校統合、校舎整備に係る調査審議、意見取りまどめに尽力。

**保** 護者が共有する情報などを町に伝え、また建築設計の経験から町のために多少、役に立てるのではと思い小学校統合推進委員会委員に応募し、小学校統合、新校舎整備に向けた検討にあたりました。

各分野で活躍される皆さんで構成する委員会では、さまざまな意見が出され、調整や取りまどめに時間がかかり、進行が遅れることがあります。皆さんの協力で副委員長を務めることができました。あらためて関係者の皆さんに感謝します。

多くの保護者は校舎の雪対策や児童の通学に不安を感じていました。私自身、より快適な空間になるよう図面を作って提案したこともありました。機能面など町民の皆さんに満足しても

## この学校を今後どううまく使うか 新校舎の完成が、よい方向に進む契機になれば

らえるかどうか少し不安ですが、全体的にとっても素晴らしい建物が出来上がったと思います。

このたびの新校舎完成は最終目的ではありません。今後この校舎をどううまく使うか、さらに、日々学び、成長していく子どもたち、それを支える町民が明るく仲良く生活できる社会づくりが大切です。子どもたちが大人になり「西会津小学校で学べて良かった」として「西会津町に恩返しをしたい」と思ってもらえるよう町全体が「学びや」になることが理想だと考えています。

子どもは未来の町を支える重要な人材です。町民の皆さんには気軽に学校にかかわってほしいと思います。人口減少に苦しむ町にとって、この新校舎完成がよい方向に進むきっかけになればと期待しています。

いま、子どもたちは、新しい校舎での学校生活をとっても楽しみにしています。落成式の後、校舎内を見学し、真新しい校舎で勉強したり、運動したり、友達と話したりと、目を輝かせ、あふれんばかりの笑顔で学校生活を送る子どもたちの姿を想像すると口元が緩んでしまいます。子どもたちのために、温かい思いが詰まった学校を建ててください。関係者の皆さんに感謝します。

## 子どもたち、保護者、先生方 みんなが共に学び、成長できる 「すてきな学校」にしていきたい

私たちが保護者が生き生き活動する姿、笑顔、一生懸命さは、子どもたちを成長させる糧になると思っています。

この学校を、児童も、保護者も、先生方もみんなが共に学び、成長することができ「すてきな学校」にしていきたいと思えます。今後ともPTA活動へのご協力をお願いします。

## 統

合から3年目の昨年4月より西会津小学校PTAの副会長を務め、多くの保護者の皆さん、先生方との交流などを通してたくさん学びました。大役を務められるか不安な私を導いてくださった皆さんに心から感謝しています。



**渡部 敦子** さん [宝川]

わたなべ・あつこ 平成26年4月から西会津小学校父母と教師の会(PTA)の副会長を務め、児童の健やかな成長のため、学校・家庭教育の振興に尽力する。



平成27年度

# 町政方針

まちづくりの基本的考え

## 住んでみたい、行ってみたい町へ

平成27年度は、「みんなの声が響くまち」を基本理念とする総合計画、平成26年度に策定した後期基本計画に基づき、「地域経済の活性化」「教育の振興・人材の育成」「健康づくりと安全・安心」を重点目標に掲げ、引き続き「住んでみたい、行ってみたい町へ」をテーマに、「こ

ろ豊かな人を育むまちづくり」「豊かで魅力あるまちづくり」「人と自然にやさしいまちづくり」を3本の柱に据え、各種事業を総合的に実施していきます。さらに「活力」をテーマとして資源、風土と地域力、人材を生かしながら、魅力あるまちづくりのため知恵を絞り、提案し、町民の皆さんが夢と希望を持って、安心して暮らせる「住んで良かったと思える明るく元気なまちづくり」に向け取り組みんでいきます。平成27年度の町政方針の概要についてお知らせします。

### 教育の振興・人材の育成

**安** 心して子どもを産み育てられる地域を目指し、平成26年度に策定した子ども子育て支援事業計画に基づき、子育て支援の一層の充実を図ります。

また、子育て支援の拠点として整備する「認定こども園」の実施設計や用地買収などを進め、同時に保育所と小学校の連携を推進できる体制づくりを進めていきます。

さらに不妊等の検査や治療費の助成などによって経済負担を軽減し安心して妊娠・出産できる環境を整えていきます。

### 学

学校教育の充実では、新校舎での教育活動が始まる西会津小学校と西会津中学校で義務教育9年間を見通した小中連携

教育を実施します。平成27年度は、小中両校で豊富な経験を持つ指導員を雇用し、小中連携教育を円滑、効果的に推進します。また西会津中学校の情報通信環

### 地域経済の活性化

**農** 林業の振興では、町の主要作物の3本柱「米」「ミネラル野菜」「キノコ」の生産振興による豊かな町の実現を目指し、各種事業に取り組みます。

米については、種もみの購入補助を行うほか、集落営農法人の生産体制強化、西会津産米の品質向上を図るための機械整備を支援します。さらに米作り体験ツアーを実施し、販路拡大に

境を段階的に整備し、学力向上に向けタブレット端末を活用した授業に取り組みしていきます。

### 芸

術文化活動の推進では、伝統文化や民俗芸能、文化財の保存・伝承に努め、平成27年度は、町歴史文化基本構想を策定するための調査を進め、併せて埋蔵文化財の整理、分類、展示に向けた準備を進めます。

努めていきます。

ミネラル栽培では、ハウスのリース事業により生産の拡大、冬の生産・販売体制の強化に努めていきます。

菌床キノコ栽培は、生産コスト軽減による経営安定を図るため、薪兼用ボイラーのリースを引き続き実施します。

農林産物加工では、商品のさらなるレベルアップ、販路拡大に向けた販売PRを実施し、各団体の所得向上を目指します。また、地域連携販売力強化施設オープンに向け、にしいあいづ農林産物加工ネットワークの活動を支援していきます。

森林整備では、森林経営計画に基づく森林施業の支援と合わせ、広葉樹林の再生事業に取り組み、森林資源の整備と有効活用を推進します。

鳥獣被害対策では、狩猟免許所持者によるパトロールを行うとともに、出没时间には迅速に対応できる体制を整備し効果的な





対策を実施していきます。  
依然続く風評に対しては、放射性物質吸収抑制対策、モニタリング検査などにより安全・安心を確認し、PRと販売促進に積極的に取り組みます。

## 商

工業の振興では、企業支援事業補助金などにより、町内立地企業、商店、個人事業主の経営安定化を支援します。

企業誘致では、産業振興と立地環境整備の課題、産業導入・集積の基本的な方向性をまとめ平成26年度に策定した計画に基づき企業誘致に向けた取り組みを推進します。

道の駅にしろいづ内に整備する地域連携販売力強化施設については、建設に着手するほか、オープンに向け販売促進に係るPR戦略等を策定します。

野沢地区への誘客拡大、商店街活性化、生活環境整備などを目的に実施する野沢地区都市再生整備計画事業では、原町パークネットワーク整備を中心に計画事業の推進を図っていきます。  
雇用の確保では、要望中の緊急雇用創出基金事業や無料職業紹介事業により一人でも多くの雇用の創出・確保を図ります。

## 観

光の振興と地域資源活用では、設立から2年目を迎える

観光交流協会の運営を支援するとともに、ふくしまデザインেশョンキャンペーンの本番を迎えるため、観光資源を生かした体験プログラムや農家民泊など交流人口の拡大に向けた取り組みを進めます。また歴史・文化的に価値の高い旧越後街道に案内看板等を設置し、周遊促進を図ります。

地域おこしの推進では、活力ある地域づくり支援事業を引き続き実施し、地域の活性化を目指す事業に自主的に取り組む団体、町民の皆さんを積極的に応援するとともに、町の将来を担う人材育成を目的とする若者まちづくりプロジェクト会議を継続し、平成27年度は、リーダー的な役割を担う若者を育成するためさらに充実した内容で会議を進めます。

## 定

住と交流の促進では、結婚祝い金、後継者対策事業、定住住宅整備費補助を引き続き実施します。また空き家情報の提供のほか、首都圏で定住を支援する「ふるさと回帰支援センター」と連携を強化し、住宅団地の販売に努めていきます。

沖縄県大宜味村、宮古島市、横浜市鶴見区、埼玉県三郷市などとの交流では、「モノ」から「ヒト」への交流拡大に向けた取り

組みを推進します。平成27年度は、宮古島市との友好都市締結から10周年を迎えるため、記念イベントを互いの市町で実施する予定です。

さゆり公園施設は、老朽が進んでいるため補助事業を使って修繕を行い、利用者の安全確保を図ります。

## 情

報化の推進では、平成26年度に策定した町情報化推進計画に基づき、施策を具現化する作業を進めていきます。また、指定管理者制度に移行するケーブルテレビ施設については、民間活力による運営により一層のサービス向上と経費節減を図っていきます。

## 健康づくりと安全・安心

### 健康

人と自然にやさしいまちづくり  
健康づくりの推進では、町健康増進計画に基づき、食、運動、健(検)診を一つのサイクルとして町民の皆さんの健康寿

命延伸を図っていきます。

町民参加型健康まつり「健康がいちばん」は、健(検)診に焦点を当てた内容で開催します。

平成27年度からは、胃がんのリスク要因を早期に発見し治療に結び付けるため、従来のX線検査と合わせて胃がんリスク検診を実施し、胃がん予防対策の充実を図っていきます。さらに、喫煙対策、幼児の虫歯予防に力を入れるほか、自分で決めた目標に向かって生活習慣を改善する取り組みなどにポイントを交付する「健康がいちばんポイント事業」を実施します。

### 医

療体制の整備では、地域医療の中核的な役割を担う町診療所の医師を4名体制とし、これに伴う看護師の確保など医療体制を強化してきたところであり、今後も医療サービスの充実に努めます。

### 福

祉の充実では、介護が必要になった場合でも、また、





認知症になった場合でも、できる限り住み慣れた地域での暮らしを続けられるように介護、医療、生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を進めます。特に関係者による地域ケア高齢者支援会議の立ち上げをはじめ認知症対策、生活支援・介護予防対策、介護サービスの充実、在宅医療と介護との連携に重点を置いて取り組みます。

障がい者福祉では、平成26年度に策定した第五期障がい者計画・第四期障がい福祉計画の基本「誰もが共に安心して生活できるまちづくり」を目指します。特に、にしあい福祉社会が運営する「相談支援事業所にしあいづ」に相談業務を委託し、相談体制の強化、サービス利用の円滑化を図ります。

## 交

交通体系の整備では、デマンドバスは、平日の運行を5便から7便に増やしたほか、大山まつり期間中に臨時バスを運行するなど改善を図ってきました。平成27年度の運行体系は、利用実態に合わせてダイヤ、使用料の見直しを行ったところです。具体的には、野沢・坂下線、まちなか循環線のダイヤ変更、野沢・坂下線の縄沢・軽沢方面およびデマンドバス町外利用

者の使用料の見直しを行いました。今後も多くの町民の皆さんが利用できるよう評価・検証を重ね、改善を図り利便性の向上を目指していきます。

## 道

路網の整備では、幹線の町道は、交通便利性の向上、地域活性化の観点から町縦貫道路等の整備を引き続き進めます。幹線以外の町道は、漆窪線、小学校線が早期に完成するように取り組み、小山松峯線の測量設計に着手していきます。このほか、森野下小島線に街路灯を設置し、歩行者、特に小学生の通学の交通安全確保を図ります。また、農林業の活性化や生活道路としての農林道の計画的な整備を進めるとともに、国道・県道の整備促進については、関係機関に積極的に要望していきます。

## 上

下水道の整備では、簡易水道施設整備事業補助金により橋屋地区の改修と高目地区の未普及地区解消を図っていきます。下水道は特定環境保全公共下水道・野沢処理区、個別排水処理施設の整備を進めます。

## 安

全・安心なまちづくりでは、交通安全対策は、関係団体

と連携を図り交通安全町民大会の開催などを通して、町民の皆さんの交通安全意識の高揚、啓発に努め交通事故の撲滅を目指します。

消防施設は、老朽化したポンプ自動車、小型動力ポンプの更新、防火水槽の整備などを進め、同時に関係団体と連携し予防消防の徹底を図ります。

防災対策では、地域防災計画の見直し作業、他自治体との災害時相互応援協定や町内事業所との災害時の支援協定の拡大、県と合同による総合防災訓練を行うしていきます。

空き家対策では、条例に基づく現地調査を実施し、適正に管理されていない空き家については指導等を行い、安全・安心な環境づくりを進めていきます。

防犯対策では、従来の防犯灯より照度が高く、長寿命・省電力のLED防犯灯の更新事業を引き続き実施します。

放射能対策では、引き続き町独自に空間線量調査、河川・飲料水等の水質検査を継続し、安全を確認していきます。

以上の各種事業について、実現可能なものから順次、効果的・効果的に推進し、町民福祉の向上に全力で取り組んでいきます。



平成27年度

町 政 方 針







# ぼくたち わたしたち

# 新1年生



## 入学する新1年生38人

松尾	森野	西原	安座	芝草	下小屋	7町内	4町内	2町内	1町内	五十嵐美空さん	下小島 清野 桜大くん									
矢部 光人くん	築田まりなさん	鈴木 日葵さん	杉原 桜和さん	長谷川 悠斗くん	鈴木 果恋さん	渡部 和門くん	古川 れのんさん	佐藤 隼くん	井上 未羽さん	石川 昊歩さん	安部 瑠夏さん	横山 穂乃佳さん	清野 龍生くん	鈴木 華穂さん	加藤 悠心くん	大槻 茉紘さん	皆川 暖さん	根本 爽くん	根本 爽くん	西林東 猪俣 想さん
	戸中 小柴 ゆいさん	榑木平 石井 希龍くん	宝川 佐藤 愛斗くん	佐藤 桃羽さん	宝川 佐藤 楓馬くん	橋谷田 真嘉さん	塚原 大翔くん	上野 尻 齋藤くらさん	山口 齋藤くらさん	黒沢 渡部実椰子さん	程 窪 新田 裕紀くん	大須賀 龍雅くん	上野 翔太朗くん	渡部 歩くん	三留守 都莉さん	長谷川 莉風さん	五寧 日南さん	五寧 日南さん	猪俣 想さん	西林東 猪俣 想さん

「3月20日現在」

4月からピカピカの新1年生が西会津小学校に通学します。今年の新1年生は、平成20年4月2日から翌年4月1日までに生まれた38人です。2月26日には体験入学(写真)が西会津小学校で行われ、入学を待ち望む子どもたちは教室で元気よくあいさつし、先輩1年生に教えてもらいながら学校生活を体験しました。

体験入学では、岩澤一徳校長「皆さんの入学が待ち遠しいです。今日はお兄さん、お姉さんと楽しく過ごしてください」とあいさつ。1年生の渡部咲依さんが「ようこそ西会津小にいらっしやいました」と歓迎の言葉を述べました。新入学児の皆さんは、小学校の紹介を聞いた後、先輩1年生が考え準備した輪投げや魚釣り、昔遊びなどのゲームと一緒に楽しみました。最後に1年生が校歌を歌って披露。新入学児の皆さんは、これから始まる学校生活への期待に胸を膨らませていました。



写真＝破碎処理を行う前にスプレー缶などの危険物を点検する作業員(環境センター山都工場提供)

# 出し方が変わる「ごみ」 4月からの変更点を解説

私たちの家庭から出る「ごみ」のほとんどは、西会津町、喜多方市、北塩原村で構成する喜多方地方広域市町村圏組合の環境センター山都工場で処分されています。

このたび組合を構成する3市町村で出し方が統一されていなかったごみ、また、環境センター山都工場に直接持ち込む場合の出し方の基準を定め、4月から出し方が変わりますのでお知らせします。併せて、ごみを出す際の注意点を掲載しますのでルールを守り正しい排出をお願いします。

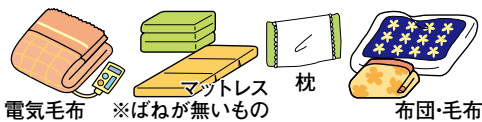
「イラスト出典||経済産業省ウエブサイト」

## 通常の収集ごみ

燃えるごみ／燃えないごみ  
プラスチック製容器包装

### 布団・電気毛布

布団、毛布、枕、マットレスは、燃えるごみで収集します。ごみ袋に入らない場合は、ひもで十文字に縛ってください。電気毛布は、毛布部分とコントローラー部分に分け、毛布は燃えるごみ、コントローラーは燃えないごみとして出してください。



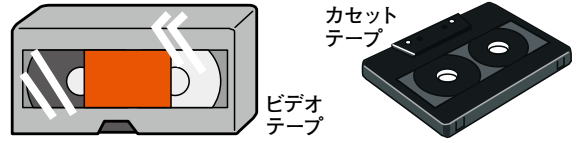
### 庭木などの枝

庭木の剪定等によって出た枝などは、長さ60センチ程度に切りそろえ、30センチほどの束に縛って、燃えるごみの収集日に出してください。なお、環境センター山都工場では処理できる枝の太さは、15センチまでです。それ以上太いものは15センチ以内に細くしてください。



## ビデオテープ類

ビデオテープやカセットテープなどのテープ類は、今まで燃えないごみとして出すようお願いしてきましたが、山都工場で破碎処理する際、テープが機械に絡まり、故障する原因となるため、4月1日からは、燃えるごみとして扱うように変更します。



カセットテープ

ビデオテープ

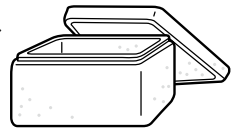
## 発泡スチロール

発泡スチロールは4月1日から、きれいに洗ってプラスチック製容器包装(プラマーク)が付いた容器包装と同じ分類(緑のごみ袋を使用)に分別して出してください。ただし汚れているもの、ごみ袋に入らない大きなものは、燃えるごみとして出してください。



プラマーク

※発泡スチロールは、4月から、プラマークが付いた容器包装と同じ分類に変更



## その他プラスチック類

その他のプラスチック類は、従来燃えないごみとして収集してきましたが、4月1日からは、軟質材(軟らかいものでプラマークが付いていないもの)は燃えるごみに分類し、それ以外の比較的硬いプラスチックは今までも燃えるごみに出してください。



比較的硬いもの  
=燃えないごみ

ボールペン DVD・ケース

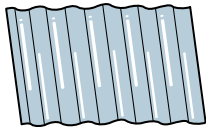
軟質材  
=燃えるごみ

ナイロン袋  
汚れが取れない容器  
スポンジ

## 粗大ごみで扱う

### 波板類

雪囲いなどに使ういわゆる波板は、すべて粗大ごみ収集時に有料で回収することになります。

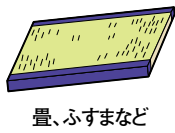


波板を丸めて縛り、あるいは細かく砕いて燃えないごみの袋に入れ、収集場所に出しても収集しません。通常の燃えないごみの収集時には出さないようにお願いします。

## 山都工場への自己搬入手続き

### 畳・建具類

畳、ふすま、障子戸(木製に限る)などを山都工場に自ら搬入する場合、事前に町役場に連絡してから搬入してください。



畳、ふすまなど

事前申込がないと山都工場では受け入れません。また建物の改築、解体で生じたものは産業廃棄物扱いになるため搬入できません。なお、搬入できる量は畳8枚まで、建具は4枚までとしています。

### 本人・住民以外の搬入

例えば、隣近所の人に頼まれた場合、あるいは帰省者が山都工場に搬入する場合など、本人または住民以外の人が自己搬入するときは、依頼者からの委任状が必要です。様式は任意で構いません。委任状には、住所、氏名、自己搬入できない理由を記載し、町役場で搬入する物、委任状の確認を受けてから山都工場に持ち込んでください。委任状が無いと搬入できません。

## お願いします 再確認 正しい出し方

- 自分が出す「ごみ」に責任を持ってください。収集できないごみは、ごみステーション(収集場所)に置いたままになります。持ち帰り分別しなおして出してください。
- 必ず自分が住む自治区のごみステーションに出してください。

- ごみ袋はきちんと縛って中身が袋から出ないようにしてください。(特にプラスチック製容器包装を出す場合)
- ライターや乾電池は役場、支所、連絡所に備え付けの回収ボックスまで持参ください。

## ごみの出し方 注意点

- ガスカートリッジ、スプレー缶は必ず穴を開けて出してください。最近、販売されている穴開け不要の缶も爆発を防ぐため穴を開けてください。



## 古紙の収集は11月に変更

新聞、雑誌などの古紙の収集は、例年3月に実施してきましたが、小中学校PTAの廃品回収と時期が重なるため、平成27年度から11月に行うこととしました。収集日程については、後日、広報などでお知らせします。



## 粗大ごみ収集の予定

昨年と同様に平成27年度も粗大ごみ収集は、6月、8月、11月の年3回実施する予定です。収集日・時間は、広報にしあいつ「お知らせ版」であらためて連絡します。

許可業者が鉄くず、タイヤ等の有料ごみを併せて収集

# 3月町議会定例会報告

## 町政の主要事項 報告から

3月6日から20日までの15日間を会期に開かれた3月定例会では、条例の制定や一部改正、平成26年度の補正予算、平成27年度予算など議案46件が審議されました。定例会での町政の主要事項報告の内容と可決された議案についてお知らせします。

対する町民懇談会などでの意見を踏まえて成案をまとめていく考えです。

### 西会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略

地方での安定した雇用を創出し、地方への人の流れをつくり、若い世代の結婚、出産、子育ての希望を実現し、時代に対応した地域づくりを基本目標に掲げる国の「まち・ひと・しごと総合戦略」を踏まえ、町では平成27年度に「西会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定していく考えです。国の平成26年度の補正予算で本町には地域住民生活等緊急支援のための交付金5千250万円が交付されます。町では本交付金をプレミアム付き商品券発行に対する補助金や町総合戦略策定等の事業に配分することとしています。

### 保育施設整備事業

町保育施設整備等審議会が新たな保育施設整備の基本方針を町に答申し、町ではこの基本方針に基づき「認定こども園」の設

置場所を西会津小学校新校舎に隣接する新森野地区に決定し、よりよい子育て環境整備に向けて事業を進めていきます。

基本設計業務の委託業者選定は公募型プロポーザル方式により進めています。2月18日に一次審査を行い、応募6社の技術提案書を審査し3社を選び、3月3日、ヒアリングによる二次審査を行い基本設計委託候補者と次席者を決定したところです。

### 沖縄県宮古島市との健康運動推進員の交流

健康づくりの基本「運動」での交流を目的に、宮古島市との健康運動推進員の交流事業を1月24日から27日までの日程で初めて実施しました。運動推進員10人が参加し、交流会では同市健康づくり推進員と活動内容や成果を発表し合い、また、ウォーキング大会や合同研修などで健康づくりの認識と交流を一層深めました。今後は気候風土が異なる地域の文化や活動を学び、また経済面での交流が活発になるよう同市との交流を深めていく考えです。

### 健康増進計画の策定

町では、町民の皆さんの健康づくりを推進するため「健康がいちばん」をキャッチフレーズに「食」と「運動」と「健(検)診」を相互に連携し、健康寿命の延伸を図ってきました。平成26年度には5年ごとに実施している生活習慣と健康に関するアンケート調査を行い、町民の皆さんの生活習慣の実態を把握し、課題を明らかにしたうえで課題解決に向けた目標を定めたところであります。今後は、健康増進計画に基づき目標達成に向け各種事業を展開していきます。

### 地域連携販売力強化施設の整備

この施設は、農林水産省の補助事業で商業団地A区画に整備するもので、2月6日、国から交付金の割当内示がありました。今後は交付金の申請、予算の繰越手続きが承認され次第、建設に着手し、平成28年夏ごろの施設オープンを目指していく考えです。また出店者募集を現在行っているところで、募集締め切り後、選定委員会を開催し、出店者を決定する考えです。

### 定住促進助成事業

町内に住む45歳以下の若者や

本町に定住しようとする町外者が、町内に住宅を新築する場合または住宅を購入する場合などに補助金を交付する定住住宅整備費補助金は2月20日現在、新築4件、増改築2件の交付決定を行っています。今後も本補助制度を積極的に周知し、若者の定住促進を図っていきます。

### 地域おこし協力隊の配置

町では、町外の人材を積極的に誘致し、地域の活性化につなげるため、国の制度を使って地域おこし協力隊を配置しています。平成25年度は1名、平成26年度は3名を配置し、地域おこし、観光、農林業の3分野で、隊員がそれぞれの能力を生かした取り組みを行っているところです。平成27年度は、4名の配置を予定しており、首都圏などでのPR活動を積極的にを行い、隊員を確保したいと考えています。

### 新たな農業政策

経営所得安定対策制度の改正により平成27年産米から一部の交付金の対象者が認定農業者や集落営農に限定されることとなります。また環境保全型農業直接支払交付金の対象も個人からグループに変更されます。この

### 役場庁舎移転計画

現庁舎は老朽化が著しいため、3月をもって空校舎となる西会津小学校施設を有効活用し、本庁舎機能を移転することとしています。今年度、実施設計を行い、庁内検討組織での検討、設計業者との打ち合わせを繰り返すし、町民の皆さんが利用しやすい施設づくりを目標に作業を進めてきました。町では計画案に

ため全農家に周知するとともに、1月28日には農業制度説明会を開催し、東北農政局・福島地域センターから説明をもらったところ。町では多くの農家が国の支援を受けられるように認定農業者への誘導や組織結成を後押ししていきます。

今年度が最終年度の中山間地域等直接支払制度は、平成27年度からの第4期対策が決まりましたので、3月中に説明会を実施し、自治区などに取り組みをお願いする予定です。

また平成27年度の町のコメ生産数量目標は、昨年度比84ト減の2千948トが配分され、2月12日に開催した町農業再生協議会で農家への配分率を56.9割に決定し、農家の皆さんにお知らせしたところです。今後は、地域間調整や産地交付金の活用により、農家の皆さんの協力を得ながら目標達成に向け努めていきます。

## 新年度における教育委員会制度

教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保、責任の明確化、危機管理体制の構築、首長との連携強化などを目的に改正された地方教育行政の組織及び運営に関する法律が4月1日より施行され、教育委員会の制度は大

きく変わります。

主な改革内容は、教育委員長と教育長を一本化し、教育委員会の代表が新教育長になります。二点目は、新教育長は町長が議会の同意を得て任命します。三点目は、町長が総合教育会議を主宰し開催することになります。



四点目は、町長は「教育行政の大綱」を総合教育会議の中で策定していきます。本町では、現教育長の任期満了日である本年12月25日まで経過措置により現行制度で運用し、新教育長制度への移行は12月26日からになります。

## 可決された議案

- ◆教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定Ⅱ地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い新制度に基づく教育長の勤務時間などを規定
- ◆指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例、地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の制定Ⅱ第三次地方分権一括法による介護保険法の改正に伴い基準を規定
- ◆地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定Ⅱ教育委員会制度改革に伴う関連条例の一括整備
- ◆附属機関の設置に関する条例の改正Ⅱ小学校統合格推進委員会の廃止
- ◆行政手続条例の改正Ⅱ行政手続法一部改正に伴う規定改正
- ◆町民バス運行条例、デマンドバス運行条例の改正Ⅱ両バスの料金の見直しによる改正
- ◆特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の改正Ⅱ社会教育指導員を

廃止する改正

- ◆介護保険条例の改正Ⅱ平成27年度から3カ年の第6期事業計画に基づく介護保険料を定めるなどの改正
- ◆指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例、指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の改正Ⅱ国の基準改正に伴う町条例の所要の改正
- ◆道路占用料徴収条例の改正Ⅱ道路占用料の改定
- ◆町立小学校及び中学校条例の改正Ⅱ新校舎への移転に伴う西会津小学校の位置の変更
- ◆体育施設条例の改正Ⅱ現西会津小学校体育館を社会体育施設「野沢体育館」とする改正
- ◆地域の元気臨時交付金事業基金条例の廃止Ⅱ原資を使い切ったことによる基金の廃止
- ◆平成26年度補正予算Ⅱ一般会計(12次)、特別会計等は住宅団地造成事業(1次)、下水道施設事業(2次)、個別排水処理事業(2次)、後期高齢者医療(2次)、国民健康保険(3次)、水道事業(3次)
- ◆平成27年度一般会計予算Ⅱ総額63億4千600万円(前年度比0.14割減)
- ◆平成27年度特別会計等予算Ⅱ工業団地造成事業ほか11会計
- ◆町道の認定Ⅱ尾登4号線、真ヶ沢4号線の新規認定
- ◆地域連携販売力強化施設の管理に係る指定管理者の指定Ⅱ同施設の指定管理者の指定
- ◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更Ⅱ小杉山地区携帯電話基地局整備に辺地対策事業債を充当するための計画変更
- ◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定Ⅱ辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づく平成27年度から31年度までの5カ年の計画を策定
- ◆過疎地域自立促進計画の変更Ⅱ道路・橋りょう修繕など5事業に過疎対策事業債を充当し整備するため計画を変更
- ◆第6期介護保険事業計画・第7期高齢者福祉計画の策定
- ◆職員の給与に関する条例の改正Ⅱ人事院等の勧告に準じた本年4月からの給与制度総合の見直しに伴う職員の給料、手当の改正
- ◆西会津小学校新校舎空調設備設置工事請負契約の締結
- ◆副町長選任への同意Ⅱ伊藤要一郎さん(堀越)の選任に同意
- ◆町長の給与の特例に関する条例の制定Ⅱ町長の給料月額を4月から9月まで100分の10減額

〔議会提案〕

## 未来を担う子どもたちのためにと学校備品寄贈

(有)伊藤電機(伊藤眞一代表取締役)、川口屋タンス店(川口良平代表)、西会津ライオンズクラブ(廣瀬渉会長、結成40周年記念式典実行委員会 高橋至実行委員長)は、西会津小新校舎落成にあたって町に学校備品を寄贈しました。3月4日、伊藤代表取締役、川口代表、廣瀬会長が町役場を訪れ、伊藤町長に目録を手渡しました。伊藤電機は加湿空気清浄機16台を、川口屋タンス店は図書館用閲覧机3台、いす6脚、ブックトラック1台を、西会津ライオンズクラブは西会津小校歌碑1基と絵画1点を寄贈しました。伊藤町長は「多大な寄付に心から感謝します」と目録を受け取りました。[写真=左から廣瀬会長、川口代表、伊藤町長、伊藤代表取締役]



## J A会津いいで青年部が「地上賞」受賞

全国農協青年組織協議会主催の今年度のJ A青年組織づくり看板全国コンクールで、J A会津いいで青年部の作品が地上賞を受賞しました。2月23日、同青年部の新澤富一西会津支部長(戸中)らが受賞報告のため町役場を訪れました。伊藤町長は「入賞した看板をPRなどに有効に活用してください」と述べ受賞をたたえました。同青年部の作品は、「黄金色に染まる稲穂の風景を子どもたちに伝えたい」という西会津支部の皆さんの思いが込められたデザインが高く評価されました。表彰式は2月20日に千葉県浦安市で行われました。[写真=報告に訪れたJ A会津いいで西部営農課の武藤常雄課長、同営農部の遠藤周作さん、新澤富一さん(左から)]

## 観光ガイドブック「じぶんいろ。」完成

町では4月から始まる「ふくしまデスティネーションキャンペーン」に合わせ、観光ガイドブックをリニューアルし2月に出来上がりました。観光関係者などで検討委員会を組織し内容を検討してきたガイドブックは、パワースポット、郷土学、自然体験、アートなどの分野ごとに西会津の楽しみ方を提案する形で、町の魅力を1冊に凝縮しています。タイトル「じぶんいろ。」には、旅行者に自分の色に合った旅を見つけしてほしいという思いを込め、裏表紙は塗り絵にしています。今後はこのガイドブックをフル活用し、町をPRしていきます。ガイドブックを希望する場合は町商工観光課(☎45-2213)に問い合わせください。



## 絶景・大自然を満喫 富士山スノートレッキング

展望と祈りの山と呼ばれる富士山=標高508.8mに登るスノートレッキングが2月22日に開かれ、参加者はスノーシューやかんじきを履いて冬山を楽しみました。このトレッキングは、自然を守り次世代に引き継ぐことなどを活動理念に、富士山を生かした地域おこしに取り組む「西会津富士の郷」が主催し、今回3回目の開催になりました。小清水に集合した参加者は漆窪口から雪上を進み、心地よい汗を流しながら山頂を目指しました。朝から2月とは思えない快晴に恵まれ頂上からは磐梯山などが望め、参加者は絶景と大自然を満喫しました。下山後、地元住民の皆さんが豚汁や餅を参加者に振る舞いもてなしました。

# 元気なうちから介護予防

いつまでも生き生き、

自分らしく暮らす

自然の摂理である老化は、加齢とともに誰にでもおとずれる生命現象ですが、老化のスピードには個人差があり、また、生活習慣などによって老化スピードは変化します。

「年だから仕方がない」と言ってしまうのは、寝たきりになりかねません。

今月は、いつまでも元気で自分らしく暮らすために重要な介護予防を取り上げます。



## 介護予防とは、

介護が必要な状態にならないように、また、介護が必要になってもそれ以上悪化しないようにする取り組みが「介護予防」です。

生涯を通じて自立した生活を送るためには生活習慣病などの病気の予防とともに介護予防が欠かせません。

介護予防では、自分の老化のサインに早く気づき生活習慣を改善すること、また、社会・地域活動などを通して生きがいを持つといったように自ら予防のために積極的に取り組むことが大切です。

## 寝たきりの原因

昨年2月に町が行った高齢者ニーズ調査によれば、寝たきりになった原因のトップは「高齢による衰弱」で28.9割、次いで「認知症」19.7割、「脳卒中」16.7割と続き、「骨折・転倒」による人は12.2割という結果でした。

## 運動の習慣化を

加齢とともに足腰の機能が衰え、転んで寝たきりになるケースが少なくありません。しかし運動を習慣にすることで運動機能の改善が図られ、若々しい生

活を維持でき、さらなる活動力の増幅につながっていきま。このため毎日、積極的に体を動かしましょう。

## 仲間と楽しむ

運動を仲間と一緒に楽しむことは、運動習慣を身に付けるコツの一つです。

ゲートボールや輪投げ、サロン活動での体操、高齢者健康水泳教室、公民館が行うスポーツ教室などさまざまなメニューがあります。自分に合ったものを探し、体力維持や回復のため週1回以上取り組みましょう。

## 貯筋運動で機能アップ

町では、生活機能アンケートで運動機能の低下が疑われる希望者31人を対象に「貯筋うんどう教室」を開催しました。教室は10

## 貯筋で悪循環を断ち切ろう

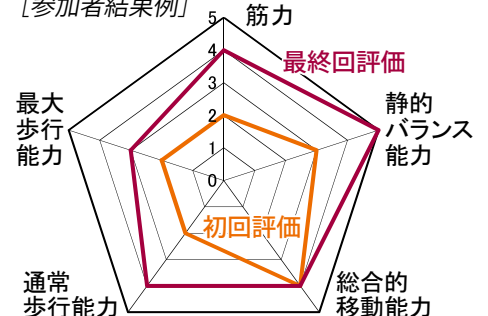
- ①最近よくつまづくようになった  
=老化のサイン
- ②家の中や外出先で転んでしまった
- ③転ぶのが怖くて外出しなくなった
- ④動かないため食欲がわかず  
欠食するようになった
- ⑤筋力が低下し、立つことがまもなくなくなった
- ⑥寝たきりになってしまった



月から12月までの間に週1回開催し、機械を使って足を鍛える運動を中心に行いました。教室参加前、「体調がよい」と答えた人は4人でしたが終了時には23人に増えていました。さらに教室の初回と最終回に行った

## 貯筋うんどう教室「運動機能評価」

[参加者結果例]



運動機能評価(右グラフ参照)では、27人中22人が筋力などの5項目のうち、いずれかが向上するという目に見える結果が出ました。

## 機能訓練事業のご案内

町では、介護予防の必要性が高く、主治医から運動を勧められている人を対象に、「機能訓練事業」を保健センターで実施しています。事業では、集団運動やさまざまな器具を使った自主訓練を行っています。さらに理学療法士による個別指導、主治医の許可がある場合は、温泉リハビリプールでの運動も併せて行っています。希望する場合は問い合わせください。

健康支援係 ☎45-4532

## 厚揚げのコクと甘酸っぱい味わい

### 材料 (4人分)

厚揚げ	2枚
玉ネギ	½個
ピーマン・生シイタケ	各4個
ニンジン	5cm
甘酢あん(砂糖Ⅱ 大さじ2と ½、トマトケチャップ・酢Ⅱ 各大さじ4、しょうゆ・酒Ⅱ 各大さじ2、かたくり粉Ⅱ 小さじ2、水Ⅱ 大さじ6)	
油	大さじ1

### 作り方

- ①厚揚げは熱湯を掛けて油を抜き2cm角に切る。玉ネギはくし切り、ニンジンは短冊切り、ピーマンは一口大に、シイタケは4等分にする。
- ②甘酢あんの材料を混ぜる。
- ③フライパンに油を入れ、玉ネギ、ピーマン、ニンジンの順に入れていたため、玉ネギが透き通ったらしイタケ、厚揚げを加える。
- ④厚揚げに焼き色がついたら甘酢あんを加え混ぜ合わせ、とろみがついたら出来上がり。

# 厚揚げが 主役の 酢豚風 いため

21



## チャレンジ!!

シリーズ

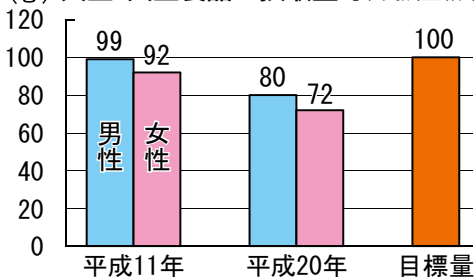
# 食育

## 目標は毎日100グラム

町が平成20年に行った栄養調査の結果、1日当たりの大豆・大豆製品の摂取量は男女とも平成11年より減っています。

摂取目標は1日100g(豆腐なら1/3丁、納豆は1パック、油揚げは1枚弱、厚揚げなら1/2枚)です。毎日食べましょう。

(g) 大豆・大豆製品の摂取量 [栄養調査結果]



### ●大豆は大事

和食に欠かせない  
大豆のチカラを見直す

### 畑

の肉といわれるように大豆は、植物性タンパク質や脂質などを豊富に含むため、肉などの動物性タンパク質とともに毎日の食卓に欠かせません。大豆製品は低脂肪でヘルシーな食材です。日本が長寿国になったのは大豆を食生活に取り入れてきたからともいわれています。また西会津町には「打ち豆」という郷土食があります。保存性が高く、すぐに煮えるといった特長があり、独特の風味とうま味が食欲を刺激します。

### 大豆の栄養素

大豆タンパク質Ⅱ良質のタンパク質は血中コレステロールを下げ、血管をしなやかにして動脈硬化予防に効果的です。  
脂質(リノール酸・レシチン)Ⅱコレステロール値を下げ動脈硬化の予防に効果的。レシチンには記憶力、集中力を増加させる働きがあります。

大豆サポニンⅡがんや老化予防に効果があります。また、脂質の代謝を促し肥満を防ぎます。

食物繊維Ⅱ便のかさを増やし、発がん物質の排出に働きます。

大豆イソフラボンⅡ女性ホルモン「エストロゲン」に似た作用があり、更年期症状を緩和する働きがあります。また美肌効果があり、老化防止や肥満予防にも効果的といわれています。







← 手作りのゼッケンを付けて走るランナー 2 回大会

## 大会概要

今大会には、安西秀幸さん 元日清食品陸上部、大島めぐみさん 〓 シドニー、アテネ五輪陸

## 奥川健康マラソン

# 40 回記念大会 6 月 21 日号砲

今年第 40 回の節目となる奥川健康マラソン大会（大会実行委員会主催）は、6 月 21 日に開催することが決まりました。

第 1 回大会は昭和 51 年、参加者 73 人で開かれ、以来年々参加者が増え、現在では全国各地からおよそ 1 千人のランナーが集う大会に発展しました。大会運営を支えるスタッフの多くは奥川地区の住民の皆さんや出身者であり、大会開催は地域の活性化に寄与しています。

今月は 40 回大会の概要、大会の創設に深くかかわった川上甫さんのインタビューを掲載します。

上競技日本代表の 2 人がゲストランナーとして出場し、参加者の皆さんと初夏の奥川路を走ります。

【日時】 6 月 21 日（日）

午前 8 時 50 分 〓 開会式

【会場】 奥川みらい交流館

グラウンド

【参加料】

親子（小学 1、2 年生）2 0 0 0 円  
 小中高生 1 0 0 0 円  
 一般 2 5 0 0 円

【参加申込書配置施設】

町公民館、町役場、新郷連絡所  
 奥川みらい交流館ほか

【申込期限】 5 月 15 日（金）

【問い合わせ先】

大会事務局（町公民館）

☎ 0 2 4 1 - 4 5 - 3 2 4 4

## 昭

和 49 年、奥川健康マラソン大会が始まる 2 年前の当時、奥川中学校

の校長を務めていた鈴木仁さんの提案でランニング愛好団体「奥川へとへとクラブ」を設立しました。鈴木さんは、会津へとへとクラブの創設にも携わった人です。

その後昭和 51 年 10 月、金山町で開かれたマラソン大会にクラブの仲間、地元中学生と参加したときのことです。大会でわれわれは上位を独占しました。しかし参加者が少なく大会には活気がありませんでした。そんな状況から帰りに立ち寄った食堂で「奥川で活気にあふれるマラソン大会を開こう」という話が

## INTERVIEW



川上 甫さん [新町]

かわかみ・はしめ 奥川健康マラソン大会の創設に尽力し、大会の「育ての親」と呼ばれる。昭和 49 年の設立当時から現在まで奥川へとへとクラブの会長を務める。福島陸上競技協会参与、西会津陸上競技協会顧問。

持ち上がり、大会事情に詳しい鈴木校長に相談に行きました。鈴木校長は「町内の教職員に競技役員を頼んで協力してもらい、すぐにやろう」と応え、なんと翌 11 月の 21 日に奥川健康マラソン大会を開催することになったのです。

奥川の新聞販売店の協力で、新聞社の後援も取り付けました。大会には奥川、町内を中心に 73 人が参加しました。ゼッケンや大会の資料作りなど、妻と夜遅くまで作業したことを思い出します。

第 2 回大会から、今のようになり 6 月の第 3 日曜に開催することになりました。開催にあたり奥川をはじめ町内の大変多くの皆さんに協力してもらいました。10 回大会から今も続けて贈っている参加賞の「えと張り子」。数大会は大会成功のためにと野沢民芸品製作企業組合さんが無

償で提供してくださりました。休憩所になる奥川寄宿舎の会場の準備は、奥川に立地する企業の社長の好意で、従業員の皆さんに手伝わってもらいました。今では多くの町内企業、商店の皆さんの協賛のおかげで、きれいに印刷製本した大会資料を作ることができまます。心から感謝しています。

大会を通して交流も続いています。20 年以上スポーツ少年団の子どもたちを引率し参加している茨城県の人とは年賀状や贈り物のやり取りを続けています。喜多方市の夫妻は本大会が縁で結婚し、今でもそろって出場しています。

これからも大会が続き、ランニングの普及や地域の活性化が図られ、人と人の絆がさらに深まることを願っています。



▲ 奥川みらい交流館に並ぶ川上さんが掲示した歴代の大会写真



# 町民バトンタッチ

は せ が わ だ い き  
長谷川 大樹さん [牛尾]

わたなべ かずや  
渡部 和也さん (3月号) からメッセージ

大学生活、大変でしょうが頑張ってください。

あなたの趣味は？  
ドライブ

特技は？  
タイピング

熱中していることは？  
車の運転

最近感動したことは？  
苦手な物理の単位が取れたこと

自分を一言で表現すると？  
怠け者

あなたのモットーは？  
好きこそものの上手なれ

これからやってみたいことは？  
いろいろな所に旅行し、名物を食べたい

次の方を紹介してください  
T・Mさん (西林東)

大切なものは？「カメラ。小遣いを貯めて買いました。風景や名所などを撮っています。これからもいろいろ撮影したいです」



## 町民 ギャラリー

## 聞いて！ わたしの夢

### 上野尻俳句会

[2月例会]

古希過ぎて一句捨りし春うらら  
園児達春を歌って日脚伸ぶ  
朝夕に雪の主や須刈富士  
窓ごしにやさしい陽ざし春待てり  
ヨーイドン居間かけ回り春を待つ  
山笑ふ隣は嫁が来るやうだ

薄 市栄 (上野尻)  
清野 ふみ (上野尻)  
豊島 立山 (下野尻)  
橋谷田久子 (上野尻)  
星 よしこ (上野尻)  
渡部ミツイ (芝草)

今月は西会津中学校野球部の部長を務める2年・長谷川歩夢さんです。

### わたしの夢——

「まだなりたい職業が多く、はっきり決まっていませんが、人の役に立てるような職業に就きたいと思っています。」

いま一番の候補は教師です。その理由は、児童生徒の夢が実現するにはぐくむことができれば、より多くの人の役に立てると思ったからです。また、小学校や中学校の先生方を見て楽しそうな職業だと思いました。いまは理科か数学の教師になりたいと思っています」



### 努力していること——

「人の役に立つためには多くの知識が必要ですので毎日の学習を一生懸命頑張っています。それから積極的に行動し、相手とのコミュニケーションを大切にしています。また相手の気持ちを考える行動を心掛けています」

### 未来の自分に一言——

「人の役に立つということは大変だと思いますが、相手を思いやることを忘れずに頑張ってください」

## まちの人口 ～3月1日現在～ (前月比)

人口	7,068人	(- 5人)
男	3,398人	(- 9人)
女	3,670人	(+ 4人)
世帯	2,752世帯	(+ 6世帯)

## 戸籍の窓口 ～2月受付分～ 〈敬称略〉

### お誕生おめでとう

五十嵐 潤くん	友明・唯	萱 本
五十嵐 陽 織ちゃん	竜太・江里子	西林東



### お悔やみ申し上げます

橋谷田 ヨシ子 (96)	渡邊邦平	母	2町内
石田 精喜 (87)	裕一	父	3町内
渡部 要子 (81)	満	母	6町内
船橋 弘二 (79)	政広	父	9町内1
池亀 正彦 (89)	秀美	父	下小屋
石田 正松 (92)	均	父	芝草
伊藤 美枝 (70)	康広	母	堀越
西田 ミヤ子 (92)	春喜	母	安座
宇多川 光規 (77)	洋	弟	松尾
物江 善次 (83)	忠義	父	八重窪
長谷川 オノイ (85)	勝弘	母	戸中
斉藤 ミチイ (92)	年	母	中町
五十嵐 昴 (93)	茂子	父	大舟沢



### 戸籍、税証明など窓口業務を延長

町では毎週火曜と木曜日に午後7時まで戸籍、住民票、税証明、出納の窓口業務を延長しています。取扱業務は各種証明書等の発行です。なお住所異動、印鑑登録などは平日の午前8時30分から午後5時15分までに手続きをお願いします。

ご利用ください

## 変わります介護保険制度

高齢者が住み慣れた地域での生活を続けられるように本年4月から介護保険制度が改正されます。今回の改正は介護・医療・生活支援・介護予防の充実、費用負担の公平化を重点に行われ、段階的に施行されます。4月からの改正内容は次のとおりです。

### 1. 介護保険料の改定

## 4月からの変更点

町では介護保険法に基づき3年ごとに介護保険事業計画を策定し、事業を運営しています。平成27年度から新たに第6期介護保険事業計画がスタートしました。この第6期計画で65歳以上の介護保険料を改定しました。詳しくは広報5月号でお知らせします。

### 2. 介護サービス利用者負担の改定

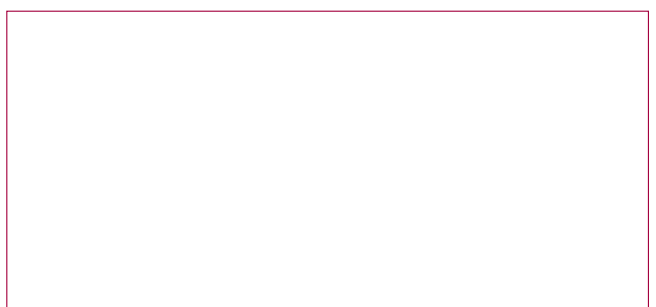
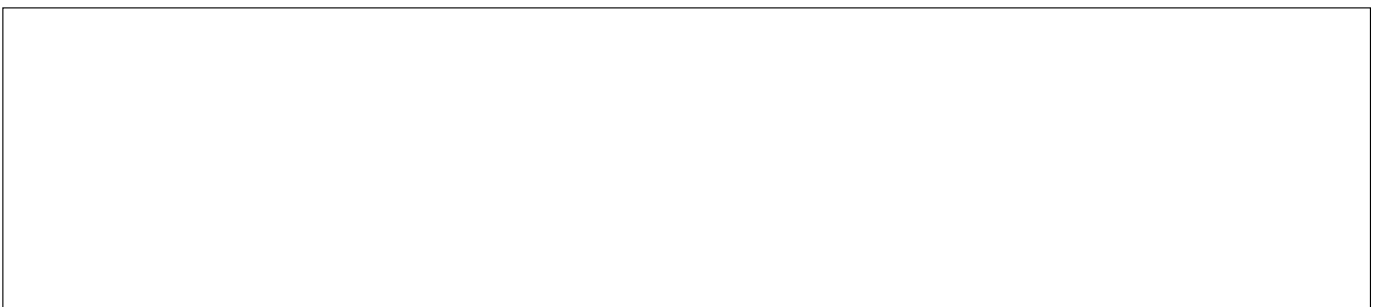
中重度の要介護者や認知症高齢者への対応強化、介護人材確保対策などを目的に、介護サービスを利用した際、事業所等に支払う利用者負担が改正されました。具体的には事業所等に問い合わせください。

### 3. 特別養護老人ホーム入所基準の変更

特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)への新規入所は、原則として要介護3以上の人が対象になります。ただし、やむを得ない事情があるとき、特例的に要介護1、2の人の入所が認められる場合があります。なお、制度改正前から入所している要介護1、2の人、要介護3以上から要介護1、2に改善した人については続けて入所できます。

【問い合わせ先】健康福祉課 ☎45-2214

以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。



## 思い出胸に学びや巣立つ

西会津中卒業式では、板橋健一校長が卒業生55名一人一人に卒業証書を手渡し、「夢を持って一度しかない人生を一步一步、歩んでください」と、はなむけの言葉を贈りました。

現校舎では最後になる西会津小卒業式では43名が思い出を胸に学びやを巣立ちました。岩澤一徳校長は卒業生に「蓄えた力を土台に限りない可能性に挑戦してほしい」と式辞を述べました。



西会津中  
卒業式  
Congratulations



西会津小  
卒業式  
Congratulations



**【西会津中】**①涙をこらえて式歌を歌う卒業生／②中学生最後の校歌斉唱／③板橋校長から卒業証書を受け取る卒業生／④送辞で先輩に感謝の言葉を贈る上野眞実さん(2年)／⑤答辞で「祝辞のひとつ一言を胸に刻み前進します」と誓う高橋晃樹さん／⑥会場を後にする卒業生

**【西会津小】**①卒業証書を受け取る卒業生／②代表で卒業記念品を受け取る土田愛唯さん／③岩澤校長に卒業記念品の目録を贈る折笠愛莉さん／④別れの歌を歌う在校生／⑤在校生と呼び掛け合う卒業生／⑥涙ぐみながら校歌を斉唱し校舎に別れを告げる卒業生



### 今月の表紙

4月から1年生になる五十嵐美空さん(1町内)、鈴木華穂さん(下小屋)、井上未羽さん(西原)、猪俣想さん(西林東)は、3月15日、落成式の後に行われた新校舎内覧会に家族と訪れ、教室に入ってさっそく着席し、「ピカピカの教室で勉強がんばりたい」と胸を躍らせていました。